

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	独立行政法人国立文化財機構施設整備に必要な経費		担当部局	文化庁		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度(統合年度:平成19年度)		担当課室	長官官房政策課		政策課長 山崎 秀保	
会計区分	一般会計		施策名	XⅢ-2 文化財の保存及び活用の充実			
根拠法令(具体的な条項も記載)	独立行政法人国立文化財機構法(平成11年法律第178号)第3条、第12条第1項		関係する計画、通知等	中期目標、中期計画、年度計画			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	博物館を設置して有形文化財を収集し、保管して公衆の観覧に供するとともに、文化財に関する調査及び研究等を行うことにより、貴重な国民的財産である文化財の保存及び活用を図ることを目的とする。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	独立行政法人国立文化財機構の設置する施設の整備充実を図るため、平成23年度は、以下の工事を実施。 「京都国立博物館平常展示館建替工事」「老朽化に伴う工事」「繰越しに係る事業」						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	3,674	3,992	4,792	6,884	4,802
		補正予算	2,101	-	-	-	
		繰越し等	▲ 3,190	1,198	▲ 424	7,539	
		計	2,585	5,190	4,368	14,423	4,802
		執行額	2,228	5,094	4,368		
	執行率(%)	86.2%	98.1%	100.0%			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	○施設整備 文化財の保存及び活用を図るために必要な施設・設備の更新・整備を計画的に実施する。		成果実績	東日本大震災の影響による工事使用資材の納期遅延や耐震設計の見直し等により、一部工事について翌年度へ繰越が生じたが、概ね順調に進捗している。			
			達成度	%	100		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	施設整備の整備件数		活動実績(当初見込み)	件	7	6	1
単位当たりコスト	契約に際しては、設計意図伝達などの特殊な場合を除き、一般競争により契約者を決定している。 さらに、契約監視委員会において、個々の契約の妥当性について、審議を行い、その議事概要をホームページで公表するなどして、透明性・競争性の確保を実施している。						
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	独立行政法人国立文化財機構施設整備費補助金	6,884 百万円	4,802 百万円	【うち重点要求 1,948百万円】			
				(東京国立博物館来館者対応設備充実工事 1,839百万円)			
				(九州国立博物館文化交流展示室改修工事 109百万円)			
	計	6,884 百万円	4,802 百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	貴重な国民的財産である文化財の保存公開施設の建替工事については、文化財の適切な保存展示環境の整備及び国民サービスの充実の観点から、独立行政法人国立文化財機構が実施すべき優先度の高い事業である。
	—	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	契約に際しては、一般競争により契約者を決定しており、契約監視委員会において、個々の契約の妥当性について、審議を行うなど、透明性・競争性が確保されている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本建替工事は、東日本大震災の影響による工事使用資材の納期遅延等により、一部工事が翌年度へ繰越となっているが、概ね順調に進捗しており、当初計画予算どおり見込みに見合った執行がなされている。なお、平常展示館建替後は、施設の十分な活用が期待できる。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>●東日本大震災の影響により、工事使用資材の納期遅延や耐震設計の見直し等のため、一部工事について翌年度への繰越が生じているが、必要な施設整備が概ね順調に進捗していることは評価できる。</p> <p>●真にやむを得ないものを除き、一般競争入札等による競争性の確保を促進するとともに、既に一般競争入札等を行っている場合も、仕様書の改善、適切な公告期間の確保、公告方法の拡大等により、入札への新規参入を促進すること。また、一者応札・一者応募については、一者応札となった契約と同じ内容の契約が生じる場合は、公告期間の延長又は必要条件を充足した上で、仕様書の要件見直しを引き続き行うことが求められる。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、独立行政法人に対する施設整備費の補助事業であり、計画的な施設整備の実施の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:必要な施設整備を計画的に実施しているものであり、整備規模の適正化やコスト縮減に留意しつつ、効果的・効率的な整備の実施に努めることとし、現在の事業内容を引き続き維持すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>関係する計画、通知等については以下を参照。</p> <p>○中期目標 http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/dokuritu/chuuki/bunkazai.htm</p> <p>○中期計画 http://www.nich.go.jp/data/hyoka/03chukikeikaku_2011-2015.pdf(国立文化財機構HPへリンク)</p> <p>○業務方法書 http://www.nich.go.jp/data/hyoka/01gyomuhohosho.pdf(国立文化財機構HPへリンク)</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0484	平成23年行政事業レビュー	0406

※平成23年度実績を記入

文化庁
施設整備費補助金4,368百万円

事業概要

独立行政法人国立文化財機構の設置する建物及びその敷地の整備充実を図るため、国立文化財機構が行う施設の整備に要する経費に対して補助を行う。

〔補助〕

〔A〕 独立行政法人国立文化財機構
4,368百万円

〔B〕
京都国立博物館平常展示館
建替工事
4,368百万円

〔老朽化のための建替工
事を実施〕

〔一般競争等・請負〕

〔C〕
民間会社等
全6機関
4,368百万円

〔京都国立博物館平常展示館建
替建築工事〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何
を行っている
かについて
補足する)
(単位:百万
円)

費目・使途 （「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金額が 支出されている者について記載 する。費目と使途の双方で 実情が分かるように記載）	A.戸田建設株式会社			C.戸田建設株式会社		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費	施設・設備の整備にかかる工事費、 事務費等	4,368	工事	平常展示館建替建築工事	2,632
	計		4,368	計		2,632
		B.京都国立博物館平常展示館建替工事				
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
事業費	老朽化のための建替工事を実施	4,368				
計		4,368	計		0	

支出先上位10者リスト

B.京都国立博物館平常展示館建替工事

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	戸田建設株式会社	平常展示館建替建築工事を行う。	2,632	8	-
2	戸田建設株式会社	平常展示館展示ケースの整備工事を行う。	1,086	4	-
3	一工・三晃特定建設工事共同 企業体	平常展示館建替機械設備工事を行う。	328	1	-
4	栗原工業株式会社	平常展示館建替電気設備工事を行う。	244	1	-
5	国交省近畿地方整備局	工事にかかる直接事務を行う。	67	随意契約	-
6	株式会社日立製作所	平常展示館建替乗用エレベータ設備工事を行う。	8	1	-
7	ダイコー株式会社	平常展示館建替荷物用エレベータ設備工事を行う。	3	1	-